

このたよりは、義務教育学校の開校に向け、保護者の皆様や地域の皆様に準備の進捗や今後の取り組みについてお伝えするため、発行いたします。

お知らせ ①

ブランドデザインが完成しました

学校と教育委員会で構成する「移行検討委員会」にて協議を重ね、「ブランドデザイン（13 ページ参照）」が完成いたしました。

本ブランドデザインは、西ノ島小中学校での9年間の学びを通して「未来を担う自立した15歳」を育てることを目指す教育運営の基本方針です。「確かな学力の育成」「豊かな心身の育成」「ふるさと教育の充実」を教育の柱として、子どもたちが「自分で考え、自分で決断し、自分で表現する力」をこれまで以上に高めていけるよう、支援していきたいと考えています。

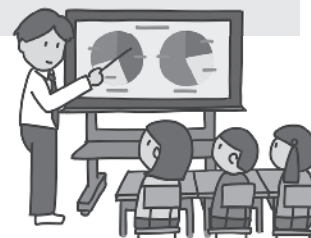
また、9年間を以下の3段階で捉え、発達段階に合わせた教育を展開していきます。

1～4年生（習得・定着期）基礎・基本の学力定着と生活リズムを整え、学びの土台を築く。

5～7年生（活用・発展期）主体的に学習に取り組む態度を育てるとともに、自分を客観視する力（メタ認知能力）を養う。

8～9年生（探求・自立期）興味関心に応じた学びを深め、自立した態度の確立を目指す。

子どもたちがふるさと西ノ島町にしっかりと「根」を張り、力強く自立していけるよう、教育環境を整えてまいります。保護者の皆様や地域の皆様の温かいご理解とご協力、子どもたちへの積極的な関わりをお願い申し上げます。



お知らせ ②

進捗状況と今後の予定について

進 捗 状 況

令和8年1月現在

現在、月に一度「移行検討委員会」を開催し、令和9年度の開校に向けて準備を進めています。令和8年2月には、保護者・地域・学校関係者の皆様を委員とする「開校準備委員会」を立ち上げ、新しい学校づくりに欠かせない具体的な項目について協議を行っていく予定です。保護者の皆様や地域の皆様との対話を大切にしながら、準備を進めてまいります。

月	日	項 目	内 容
9月	26日	「義務教育学校開校便り Vol.2」発行 (保護者便り)	
10月	16日	▶第4回移行検討委員会 (教育委員会と小中学校)	・ブランドデザインについて ・検討・準備事項について
	29日	教育委員会への説明	
11月		11月広報誌「開校準備便り Vol.2」発行	
	28日	▶第5回移行検討委員会 (教育委員会と小中学校)	・検討・準備事項について ・令和8年度タイムスケジュールについて ・保護者説明会について
1月	8日	「義務教育学校開校便り Vol.3」発行 (保護者便り)	

西ノ島町 教育の基本理念

“ふるさと西ノ島”への愛着と誇りを持った次代を担う人づくり

西ノ島町 教育基本目標 「未来の担い手を育む魅力ある教育の推進」

重点施策 ○確かな学力を育む教育の推進 ○豊かな心身を育む教育の推進
○ふるさとへの愛着と誇りを育む教育の推進 ○教育環境の整備

目指す子ども像

ふるさとに誇りを持ち、未来の西ノ島の担い手となる、自立した15歳

西ノ島小中学校教育目標

ふるさとを愛し、確かな学力・豊かな人間性を身につけた、未来を拓く自立した子どもを育てる

学力アップ

自ら学ぶ意欲をもち、
確かな学力を身につけた子

ハートアップ

多様性を受け入れ、自他を
尊重して協働できる子

パワーアップ

夢や目標に向かって
粘り強くやり抜く子

確かな学力の育成

- ・9年間の連続性・系統性・一貫性を大切にした学びの実現
- ・教職員の専門性を生かしたチームによる連携指導体制の構築
- ・発達段階に応じた学力（認知能力・非認知能力）を育む「4-3-2制」の導入

豊かな心身の育成

- ・異学年交流活動の充実
- ・児童生徒主体の取組の推進
- ・9年間を通した生徒指導体制の構築
- ・多様な教育的ニーズへの支援体制の確立
- ・保育園・こどもえんとの交流・連携の推進

未来を担う
自立した15歳

- ・「ふるさと教育一覧表」に基づく「ふるさと教育」の推進
- ・地域の教育資源（ひと・もの・こと）の積極的な活用
- ・地域における豊かな体験活動や探究活動の充実
- ・家庭や地域との連携による社会に開かれた教育活動の実現

「ふるさと教育」の充実

* 義務教育9年間の指導上の重点 *

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
基礎・基本の定着 生活・学習規律の確立 生活リズムの定着				主体的に学習に取り組む態度の育成 メタ認知能力の育成			興味関心に応じた 主体的な学びの充実 自立した態度の確立	